



平成27年7月1日
国土交通省中部地方整備局
三河港湾事務所

初めての「海の工事現場」に興味津々 ～一色中学校2年生3名が衣浦港防波堤の改良工事 現場を職場体験学習～

衣浦港沖合の西防波堤では老朽化と大規模地震発生時の沈下により来襲する津波に対する防護効果の低下が懸念される事から、平成26年より防波堤改良工事を進めています。

平成27年6月24日（水）、愛知県西尾市立一色中学校2年生3名が「職場体験学習」として、防波堤の改良工事現場を訪れました。

交通船で衣浦港西防波堤に上陸し、1.5トンある石を投入する作業状況を見学後、防波堤上に設置されている現場監督用の「監視台」に高所作業用安全帯を装着して登り、現場全体を確認したり、船上で海水を検査する機器を実際に使い水質調査を行うなど様々な体験をしました。

3名の生徒は同校の重点努力目標の『しおさい運動』の一つである「しんけんに、自ら学ぶ子が集う学校」にふさわしく、工事を担当する徳倉建設（株）の現場責任者からの説明に対し、熱心にメモを取っていました。

参加した3名からは、『建設業に興味があって、この職場体験を希望し参加しました』『船を高い所から見る事が出来て良かった』という感想が寄せられ、初めて体験する「海の工事現場」に興味津々の様子でした。

■職場体験学習の様子（別紙1）

■参考資料：一色中学校の紹介＝「しおさい運動」（別紙2）

●配布先

中部地方整備局記者クラブ、専門紙記者会、半田記者クラブ、碧南記者クラブ、
港湾新聞、港湾空港タイムス、日本海事新聞、海事プレス

●問合せ先

国土交通省 中部地方整備局 三河港湾事務所 衣浦港事務所
航路管理課 課長 伊藤（いとう）

Tel 0569-21-2311

Fax 0569-21-2312

別紙1



1. 5トンの石が投入される状況を見学する様子



工事現場担当者の説明に熱心にメモを取る様子



防波堤上の「監視台」から見学する様子



海の水質調査を体験する様子

し お さ い

潮騒の学校

校訓「自立・協同」



校章

■ 本年度の目標 ■

校訓「自立・協同」のもと、5つの生徒規範を基盤として、社会人としての基礎・基本（自立）の育成と、人と共に生きる思いやりの心（協同）の育成をめざす。

【生徒規範】

- | | |
|-------------|------------------|
| ○ 知識を広めます | 自ら学ぶ意欲の向上 |
| ○ 礼儀を正しくします | 大きな返事、さわやかな挨拶の徹底 |
| ○ 勤労を愛します | 無言清掃を深化 |
| ○ 責任を果たします | やりきる生徒の育成 |
| ○ 健康を進めます | 心身の健康の推進 |

■ 重点努力目標 ■

しおさい運動（昭和55年開始）の実践と充実を図り、生徒会の取り組みと一体となって、校訓「自立・協同」を具現化した生徒の姿が学校生活全般で見られるようにする。

« しおさい運動 »

- | | | |
|---|------------------------|-------------|
| し | … しんけんに、自ら学ぶ子の集う学校 | 【チャイム着席・自学】 |
| お | … おおきな声で、あいさつや返事の響く学校 | 【あいさつ運動】 |
| さ | … さつと行動、仲間と協力する姿の溢れる学校 | 【給食10分準備】 |
| い | … いつもきれいで、心も輝く学校 | 【無言清掃】 |